



【Microsoft 365】 Copilot 更新情報 | 2026年8月

2026年09月30日

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第1版	2026年09月30日	初版発行

本書の内容は 2026/09/30 時点のものです。製品のアップデートにより変更となる場合がある旨、ご了承ください。

Agenda

1. 前提情報
 1. 本書の目的
 2. 用語集
2. 更新情報
 1. 今月のアップデートテーマ
3. ユーザー向け機能：Copilot プラットフォームの進化
 1. Cowork における作業レベル・コスト管理強化
 2. Copilot Chat の操作性・連携機能の強化
 3. Copilot Notebooks における新しいワークスタイル
 4. コネクタおよびプラグインの拡張
4. ユーザー向け機能：Microsoft 365 アプリの Copilot 強化
 1. Copilot in Teams の会議要約言語変更
 2. Copilot in Word のハイパーリンク・画像理解・ハイライト機能
 3. Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化
 4. Copilot in Excel のチャット履歴および変更履歴機能
 5. Copilot in SharePoint のパーソナルスキル
 6. Copilot in Outlook のエージェント・メール作成・管理機能の強化
 7. Copilot in OneDrive のファイル機能強化
 8. Copilot in Planner のステータスレポートとタスク管理強化
5. IT 管理者向け機能：管理・ガバナンス機能の強化
 1. データエクスポート機能
 2. GitHub Copilot AI Credits の管理強化



1. 前提情報

1.1. 本書の目的

目的

本書は、Microsoft から 2026 年 8 月に公開された Microsoft 365 Copilot（以降、Copilot）の新機能および機能強化の内容を整理し、その概要と利用価値を理解することを目的としています。併せて、ユーザー向け機能と IT 管理者向け機能の観点から変更点を確認し、各機能の活用方法や運用上の考慮事項を把握することで、Microsoft 365 Copilot の更なる活用促進と業務生産性向上の実現を目指します。

注意事項

Copilot の新機能は段階的に展開されるため、本資料に記載している機能が環境によっては利用できない場合があります。

※参考 : [Microsoft 365 Copilot のリリース ノート](#)

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
1	Microsoft 365 Copilot	Microsoft 365 アプリ、Microsoft Graph、生成 AI を組み合わせて業務を支援する AI アシスタント。
2	Word	ドキュメントの作成・編集・共同作業を行う Microsoft 365 のワープロアプリケーション。
3	Excel	表計算、分析、可視化を行う Microsoft 365 のデータ管理アプリケーション。
4	PowerPoint	プレゼンテーションの作成・共有・発表を行う Microsoft 365 のプレゼンテーションアプリケーション。
5	Copilot Chat	組織データや Web 情報を活用した対話型 AI アシスタント機能。
6	OpenAI	GPT シリーズおよび生成 AI 技術を開発する AI 研究・開発企業。
7	Anthropic	Claude シリーズの大規模言語モデルを開発する AI 研究・開発企業。
8	大規模言語モデル（LLM）	大量のテキストデータを学習し自然言語の理解・生成を行う AI モデル。
9	Planner Agent	Planner の計画データから進捗・リスク・次のステップをまとめたステータスレポートを自動生成するエージェント。
10	マルチモーダル	音声・画像・テキストなど複数の形式の情報をまとめて認識・処理する仕組み。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
11	Cowork	Copilot が複数ステップの作業を自律的に代行する共同作業モード。 処理量に応じて Cowork クレジットを消費。
12	Copilot Notebooks	資料・会話・メモをまとめて参照しながら成果物を作成できるノートブック機能。
13	WorkIQ	業務コンテキストを解析し提案精度を高める基盤。
14	Microsoft Graph・Power BI セマンティックモデル	Microsoft 365 のメール・ファイル・予定などを扱うデータ基盤と、Power BI で分析の基となる指標やデータ構造を定義したモデル。
15	コネクタ・プラグイン	外部サービスのデータや機能を Copilot から参照・実行できるようにする拡張機能。
16	エージェント	指示に基づき業務を自律的に実行する AI。
17	カスタムエンジンエージェント	独自のモデルやロジックで構築した組織固有のエージェント。
18	スキル（パーソナルスキル・ カスタムスキル）	繰り返し行う指示や作成ルールを、再利用可能なガイダンスとして登録・共有する機能。
19	ブランドキット	企業のテンプレートや配色を登録し Copilot の生成物に適用する仕組み。 厳格なブランド準拠やノートによる操作機能を含む。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
20	Cowork クレジット	Copilot Cowork の利用量を管理するための単位。タスク実行時に消費。
21	GitHub Copilot AI Credits	GitHub Copilot の AI 処理利用量を管理するための単位。高度な機能の利用時に消費され、管理者による監視・分析が可能。
22	Frontier	新機能を先行利用できるプログラム。
23	パブリックプレビュー	正式提供前の機能を、希望する組織やユーザーが試験的に利用できる公開段階。
24	Agent 365	組織内で利用される AI エージェントの利用状況やガバナンスを一元的に管理する管理者向けの基盤。
25	GitHub Copilot	コードの生成・補完やレビューを支援する開発者向けの AI アシスタント。
26	Power Automate	フォーム入力や承認などの業務プロセスを自動化する Microsoft のワークフローサービス。



2. 更新情報

2.1. 今月のアップデートテーマ

本書は、[こちら](#)の記事を参考にアップデート内容をまとめております。



Microsoft 365 Copilot アップデート

Copilot プラットフォームの進化、Microsoft 365 アプリの Copilot 強化、管理・ガバナンス機能の強化

1 Copilot プラットフォームの進化

- Cowork における作業レベル・コスト管理強化
- Copilot Chat の操作性・連携機能の強化
- Copilot Notebooks における新しいワークスタイル
- コネクタおよびプラグインの拡張

2 Microsoft 365 アプリの Copilot 強化

- Copilot in Teams の会議要約言語変更
- Copilot in Word のハイパーリンク・画像理解・ハイライト機能
- Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化
- Copilot in Excel のチャット履歴および変更履歴機能
- Copilot in SharePoint のパーソナルスキル
- Copilot in Outlook のエージェント・メール作成・管理機能の強化
- Copilot in OneDrive のファイル機能強化
- Copilot in Planner のステータスレポートとタスク管理強化

3 管理・ガバナンス機能の強化

- データエクスポート機能
- GitHub Copilot AI Credits の管理強化



3. ユーザー向け機能： Copilot プラットフォームの進化

3.1. Cowork における作業レベル・コスト管理強化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Cowork における作業レベル・コスト管理強化」についてまとめています。

NEW

Cowork の作業レベルの選択が可能に

ユーザーは、用途に応じて Cowork の作業レベルを選択できるようになりました。作業レベルによって、品質・処理速度・クレジット消費量のバランスが変わります。

レベル

(最高)
(非常に高い)
(高)

Max
Extra High
High

- 回答の量・質の向上
- 処理時間が長くなり、制限をより早く消費する可能性がある

(中)
(軽)

Medium
Light

- シンプルな作業・日常業務向けのデフォルト設定



NEW

Cowork クレジットの使用状況の詳細が閲覧可能に

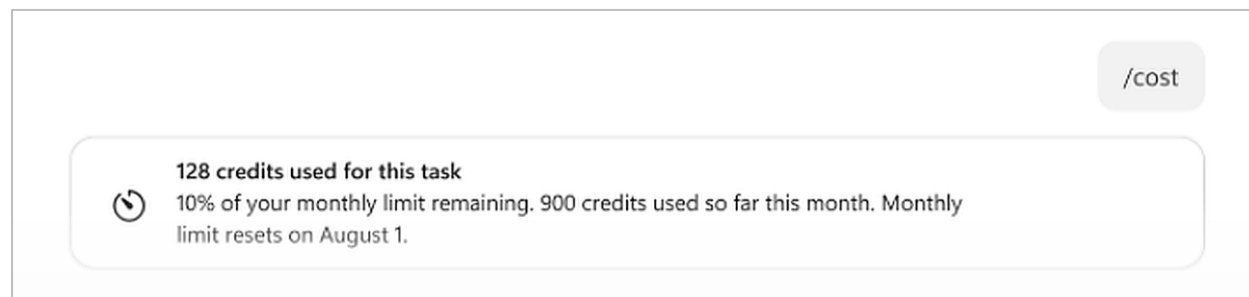
“/cost” コマンドにより、Cowork クレジット使用状況をより詳細に表示可能になりました。

流れ

1 Copilot Cowork にて “/cost” と入力します。

2 入力後、以下の項目を確認します。

- ・ 現在のタスクで使用されたクレジットの見積もり
- ・ 月間クレジット上限に対する残量の割合
- ・ 今月これまでに使用されたクレジット数
- ・ 月間上限のリセット日



3.1. Cowork における作業レベル・コスト管理強化

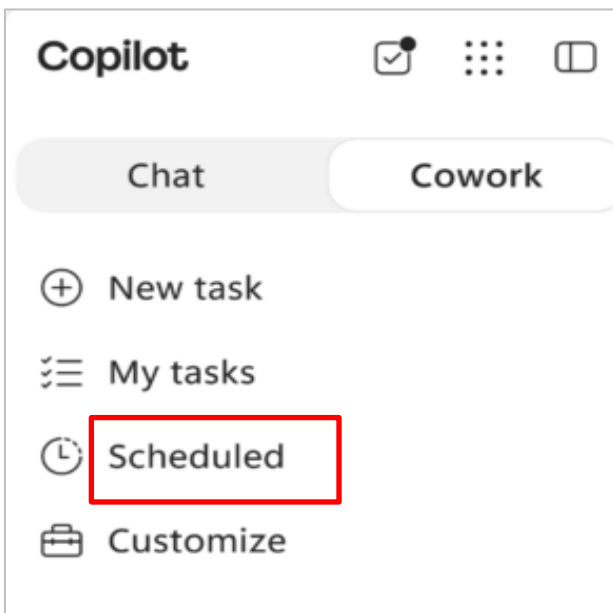
本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Cowork における作業レベル・コスト管理強化」についてまとめています。

NEW

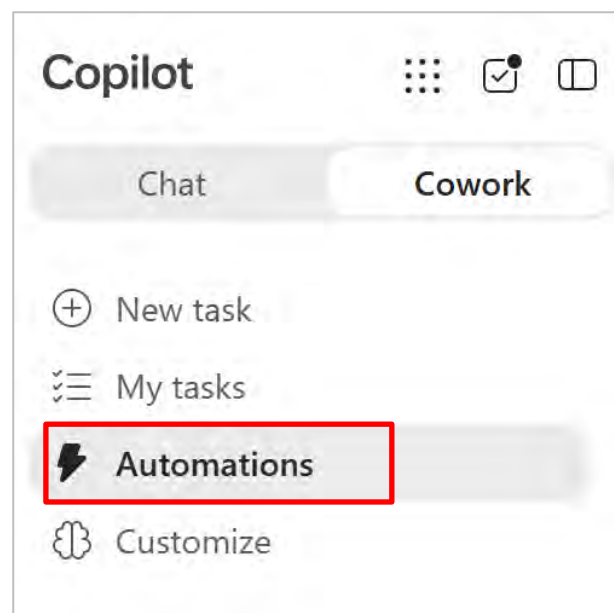
Cowork の「Scheduled」タブが「Automations」タブへと表記変更

Cowork の「Scheduled」タブが「Automations」タブへと表記変更されました。

変更前



変更後



メリット



自動化タスクを確認・管理できます。



項目ごとにわけて管理できます。

- スケジュール済みタスク
- イベントトリガー型タスク

3.2. Copilot Chat の操作性・連携機能の強化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Chat の操作性・連携機能の強化」についてまとめています。

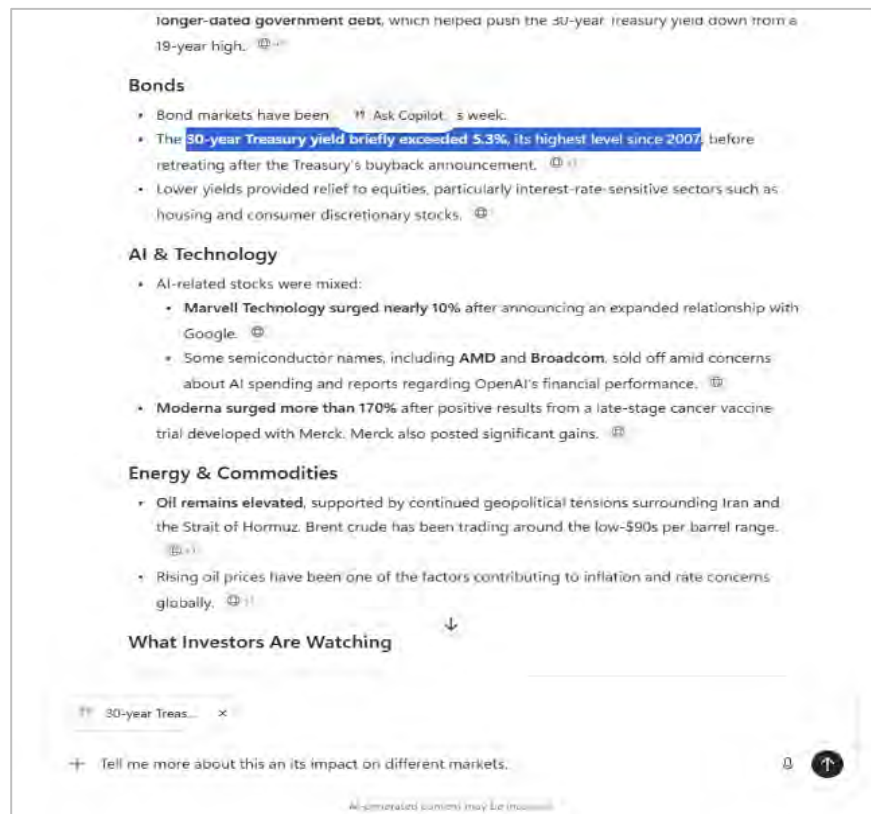
NEW

チャット応答の一部を指定した Copilot 活用が可能に

Copilot Chat の回答から文・段落・表を選択し、選択した部分だけを対象に追加の質問や指示を行えます。

流れ

- 1 詳細を確認したい Copilot Chat の回答を選択（文・段落・表）します。
- 2 「Ask Copilot」を選択し、選択した内容に対する質問や指示を入力して送信します。



3.2. Copilot Chat の操作性・連携機能の強化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Chat の操作性・連携機能の強化」についてまとめています。

NEW

チャットセッション全体または個々の回答を、共有リンクを使用して共有可能に

受信者は読み取り専用で閲覧できるため、組織の管理下で作業内容を簡単に再利用、共同作業を行うことが可能です。

チャット全体の共有

- 1 チャット画面右上の「Share chat」を選択します。
- 2 コピーしたリンクを、回答を共有したいユーザーへ送付します。



個々の返信の共有

- 1 返信の末尾にあるメニューより「Share response」を選択します。
- 2 コピーしたリンクを、回答を共有したいユーザーへ送付します。



3.2. Copilot Chat の操作性・連携機能の強化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Chat の操作性・連携機能の強化」についてまとめています。

NEW Power BI データを活用した Copilot 推論が可能に

ユーザーは自然言語で質問し、アクセス可能なデータから直接、正確で根拠に基づいた回答を受け取ることができます。

従来

Microsoft Graph を通じて
Microsoft 365 のデータを参照

- メール
- チャット
- ファイルなど



Microsoft Graph

更新後

従来の内容に加え、以下も参照
可能

- Power BI レポート
- Power BI セマンティックモデル



Microsoft Graph



Power BI

NEW

モデル駆動型アンサーカードの利用が可能に

天気、スポーツ、金融、画像、動画、場所、ニュースなどのコンテンツをチャットに分かりやすく表示します。

利用例

1. Copilot Chat にて「今日の東京の天気は？」と質問

2. 今日の天気のまとめに加え、10日先までの予報を表として出力



3.2. Copilot Chat の操作性・連携機能の強化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Chat の操作性・連携機能の強化」についてまとめています。

NEW チャットで最新のプロンプトに対する応答の再生成が可能に

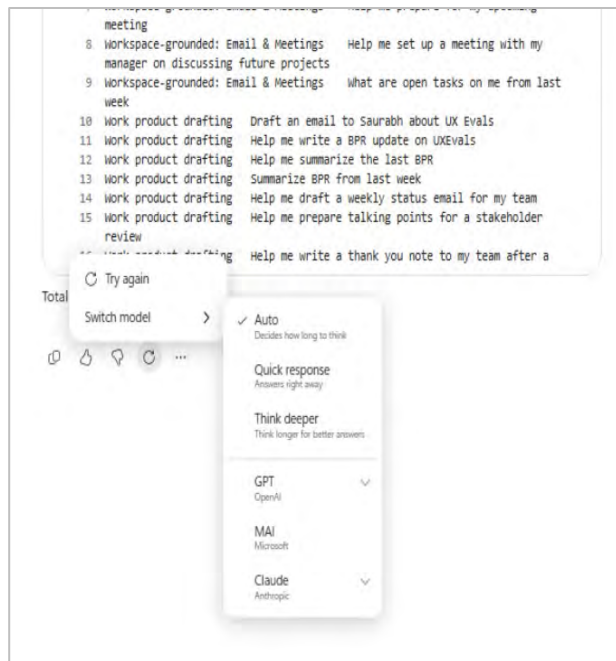
NEW モバイルでアイデアをメールに変換可能に

「再試行」を選択すると、同じモデルで新しい応答を生成するか、新しいモデルを選択して Copilot に同じプロンプトを実行させることができます。

1 チャットにてプロンプトを入力します。

2 回答に対し「再試行」を選択します。

3 会話を繰り返すことなく、様々な回答を試すことで出力品質を向上させます。



必要なメッセージを説明するだけで、Copilot が Outlook モバイルに下書きを直接作成します。

1 メールに入れたいメッセージを Copilot Chat に入力します。

2 Copilot がチャットで Outlook の下書きを直接作成します。

3 ユーザーは Outlook モバイルで下書きを開き、編集・送信することができます。

※本機能はモバイル版でのみ利用可能

3.3. Copilot Notebooks における新しいワークスタイル

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Notebooks における新しいワークスタイル」についてまとめています。

NEW Copilot アプリと OneNote を連携した作業が可能に

ノートブックは、Copilot アプリと OneNote 間で同期されるため、ユーザーは手間なく 2 つのアプリ間を移動できます。



Copilot と素早くチャットしたり、参照資料を閲覧したり、成果物を作成したりできます。



より詳細なプロジェクト作業、成果物の作成、チームコラボレーションのためのワークスペース操作が可能です。

ポイント

Copilot Notebooks の「OneNote で開く」から OneNote へ直接移動可能に

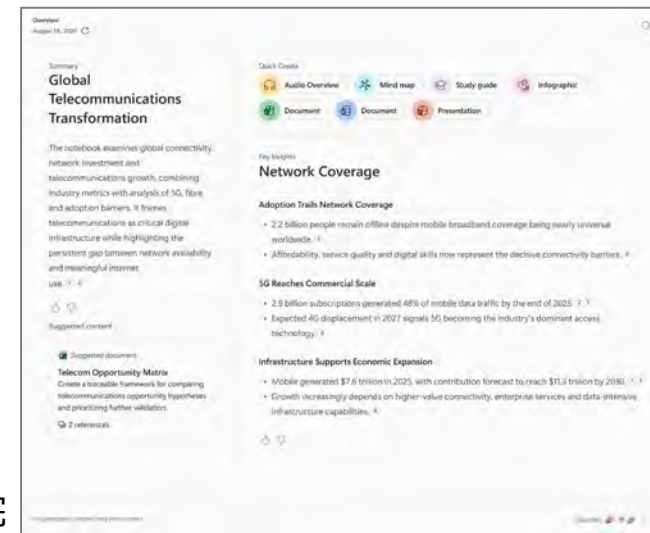


NEW WorkIQ と Notebooks から関連ドキュメント作成が可能に

提案を選択すると、Copilot はユーザーのノートブックの内容と現在のプロジェクトに基づいて、より具体的な Word、Excel、PowerPoint の成果物を生成します。

流れ

- 1 Copilot が WorkIQ 、ノートブックから現在のプロジェクトを分析します。
- 2 Copilot が、分析結果をもとにノートブック内の資料を参照して、提案書や会議アジェンダの下書き生成を提案します。
- 3 提案をクリックして作成を完了します。



3.3. Copilot Notebooks における新しいワークスタイル

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Notebooks における新しいワークスタイル」についてまとめています。

NEW

Android 版マルチモーダルキャプチャ機能で音声・画像・メモの一括取り込みが可能に

会話、会議、ブレインストーミングなど、仕事上の様々な場면을 Copilot Notebooks に取り込むことができます。

流れ

- 1 音声・画像・メモを一度にキャプチャします。
- 2 Copilot が自動的に内容に沿ったメモを Copilot Notebooks 用に生成します。

ポイント



iOS 版・iPad 版の OneNote アプリでも利用できます。

利用シーン

オフラインでの作業シーンを記録します。



対面での会話



プレゼンテーション



個人的なメモ

リリーススケジュール



この機能は 2026 年 9 月にリリース予定です。
※弊社環境では未確認

3.4. コネクタおよびプラグインの拡張

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「コネクタおよびプラグインの拡張」についてまとめています。

NEW

新たなコネクタ・プラグインとの連携が可能に

Microsoft は、複数の業界にわたる新しいコネクタとプラグインを追加し、金融、法律、調査、業務管理などの外部サービスと Copilot を連携できるようになりました。これにより、以下のサービスが持つデータや機能を Copilot から利用できるようになります。



金融サービス

- Mercury
- Xero



法律サービス

- Harvey
- Boardwise
- iManage Work
- Descrybe Legal Engine
- Relativity
- Everlaw



専門サービス・ビジネスサービス

- Statista
- Crossbeam
- ZoomInfo
- IDC



エネルギー・資源

- S&P Global Energy



ヘルスケア・ライフサイエンス

- Scite and Consensus



ソフトウェア・テクノロジー

- Adobe Journey Optimizer
- GoDaddy
- Asana



4. ユーザー向け機能： Microsoft 365 アプリの Copilot 強化

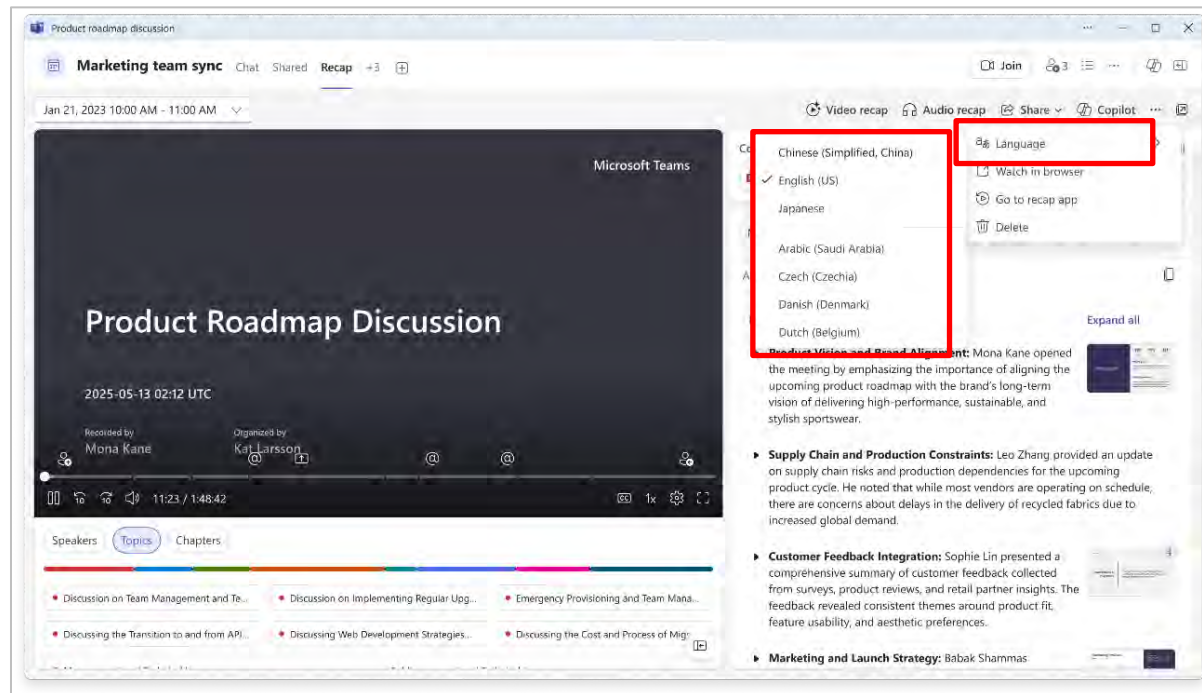
4.1. Copilot in Teams の会議要約言語変更

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Teams の会議要約言語変更」についてまとめています。

NEW

会議議事録の言語変更が可能に

翻訳ボタンにより、会議後でも会議議事録の表示言語を変更できるため、多言語環境での会議内容を確認しやすくなりました。



流れ

- 1  要約を開きます。
- 2  「…」を選択します。
- 3  「Language」を選択します。
- 4  言語を選択します。

利用例

 海外の取引先との会議内容を日本語でまとめたいケース

 異なる言語を使用する参加者向けに翻訳し、認識を合わせたいケース

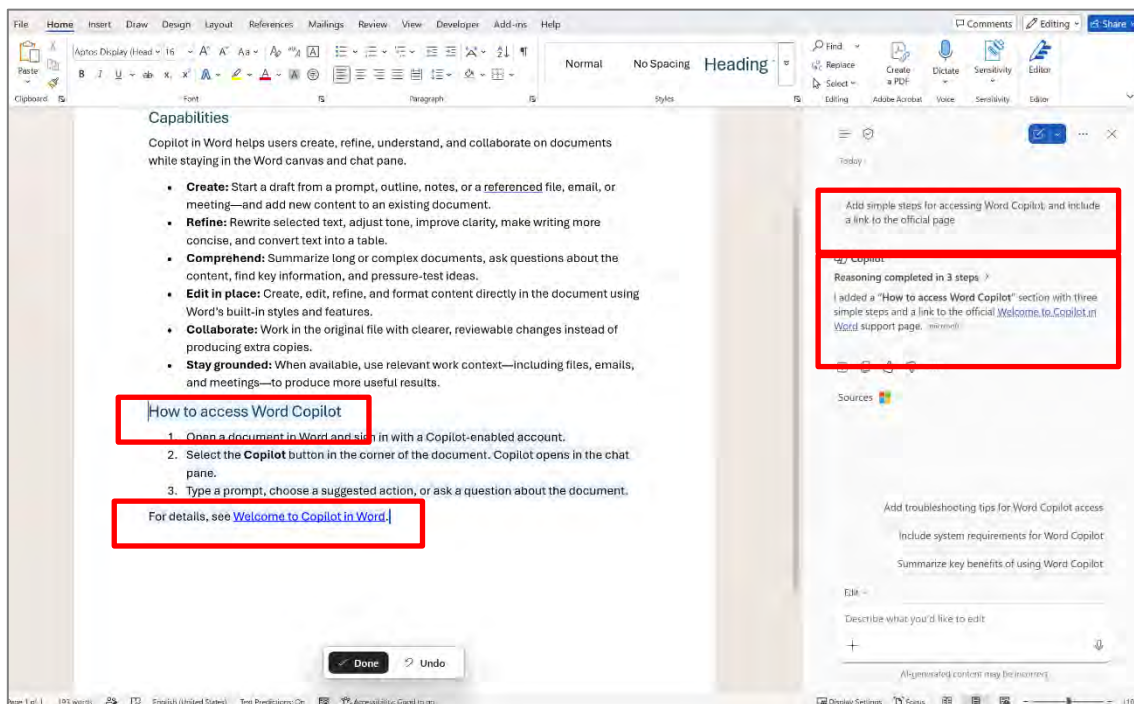
4.2. Copilot in Word のハイパーリンク・画像理解・ハイライト機能

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Word のハイパーリンク・画像理解・ハイライト機能」についてまとめています。

NEW

Copilot によるハイパーリンクの自動挿入が可能に

ユーザーは Copilot にハイパーリンクの追加を依頼すると、リンク付きのテキストがドキュメントへ挿入されます。



流れ

1



Copilot に「〇〇の公式ページのリンクを挿入して」と伝えます。

2



Copilot がドキュメントに直接、指定された箇所にハイパーリンクを追加します。

メリット



書式設定の自動適用ができます。



適切な箇所へ自動でハイパーリンクを挿入することができます。

4.2. Copilot in Word のハイパーリンク・画像理解・ハイライト機能

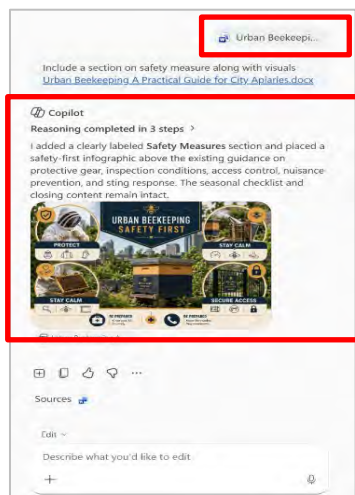
本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Word のハイパーリンク・画像理解・ハイライト機能」についてまとめています。

NEW 参照ファイルの画像を活用したドキュメント作成が可能に

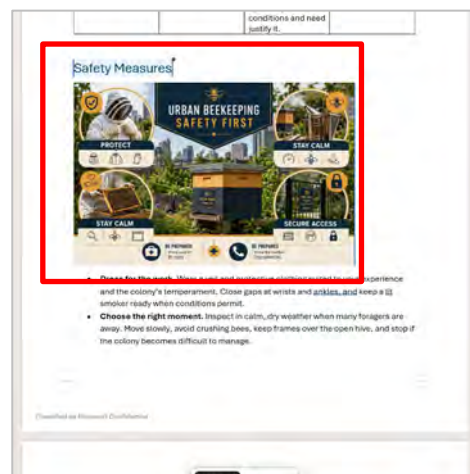
ユーザーがドキュメントを作成する際に、Copilot が参照ファイルから関連するテキストだけでなく画像もドキュメントに組み込みます。

流れ

1 Copilot に「（指定の）ファイルから〇〇に関する文を画像を使用し作成して」と伝えます。



2 Copilot が指定ファイルをもとに、文章・関連画像をドキュメントに作成します。

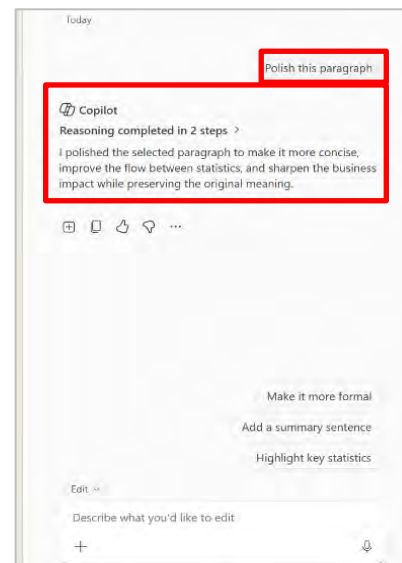


NEW Copilot の編集内容を単語単位で確認可能に

Copilot がテキストを書き換えたり修正したりする際、以前は段落全体をマークしていましたが、現在は編集した単語のみをハイライト表示します。

流れ

1 Copilot に「この段落を修正して」と伝えます。



2 Copilot が指定された段落を修正し、修正箇所をハイライト表示します。



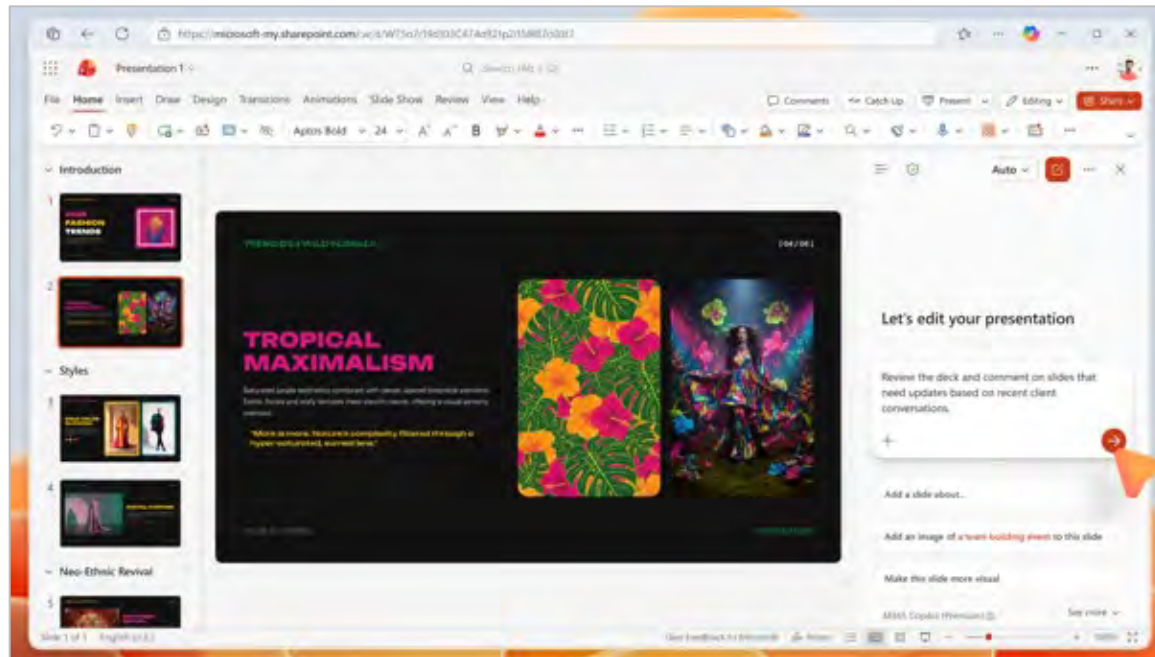
4.3. Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化」についてまとめています。

NEW

コメント欄でタスクの割り当てや関係者への通知が可能に

PowerPoint の Copilot 機能を使うことによって、コメント欄でタスクの割り当てや関係者への通知ができるようになりました。



流れ

- 1 コメントでのフィードバックを行います。
- 2 Copilot がタスクに変換します。
- 3 適切な担当者を会話に招待・通知します。
- 4 担当者はタスクを確認し、対応を進めます。

メリット

- フィードバックの確認からタスクの割り当てまでの所要時間を短縮します。
- プレゼンテーションのレビュー管理が効率化できます。

4.3. Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化」についてまとめています。

NEW

厳格なブランド準拠に基づくプレゼンテーション作成が可能に

厳格なブランド準拠を選択すると、Copilot は承認済みのテンプレートとスライドマスターのレイアウトのみを使用します。

厳格なブランド準拠

オンにした場合、以下の事項が制限されます。

- ❌ プレースホルダーの追加・削除
- ❌ 新しいレイアウトの考案

利用シーン

クリエイティブ性よりブランドの一貫性を重視したい場面に活用します。

 顧客へのプレゼンテーション資料

 会社の公式ドキュメント

厳密モードの設定変更の流れ

- 1  **ブランド キットで [ブランド キットの管理] を開きます。**
- 2  **[テンプレート] セクションを展開します。**
- 3  **[厳格なブランド準拠] トグルを オンまたはオフにします。**
- 4  **確認ダイアログが表示されます。**
- 5  **内容が意図しているものか確認し、問題がなければ設定を適用します。**
※有効化する場合は、[有効にする] を選択します。



ブランド制限をオンにする

Copilot は、プレゼンテーションを作成または編集するときに、テンプレートで定義されているレイアウトとデザイン要素のみを使用します。

有効にする キャンセル

4.3. Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化」についてまとめています。

NEW

スピーカーノートによる Copilot の動作制御が可能に

スピーカーノートによる操作機能を使用すると、スピーカーノートに簡単な言葉で指示を記述することで、スライドごとに Copilot を制御できます。

メリット

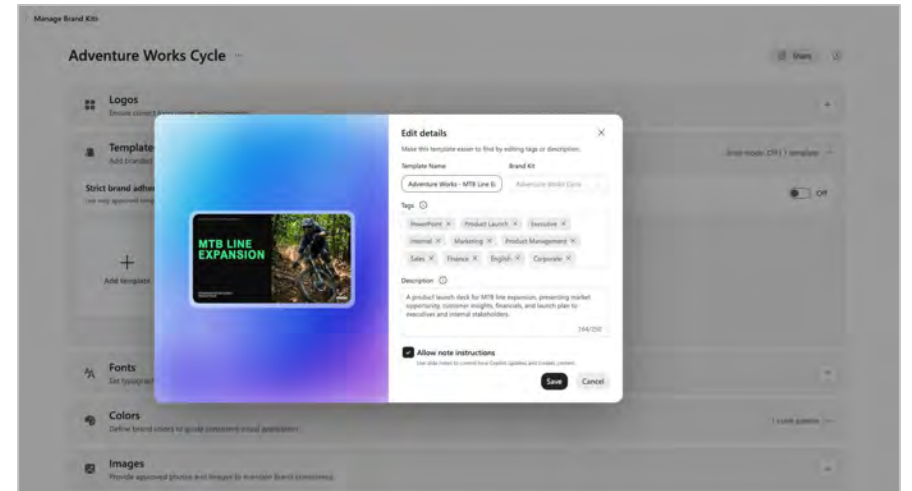
資料を作成するたびに同じプロンプトを書く必要がありません。

指示例

- 💡 会社指定の表紙を使用する
- 💡 会社概要のスライドは編集しない
- 💡 図や画像を多めに使用する

流れ

- 1  スピーカーノートの指示を追加します。
- 2  テンプレートに名前を付け、ブランドキットにアップロードします。



4.3. Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化」についてまとめています。

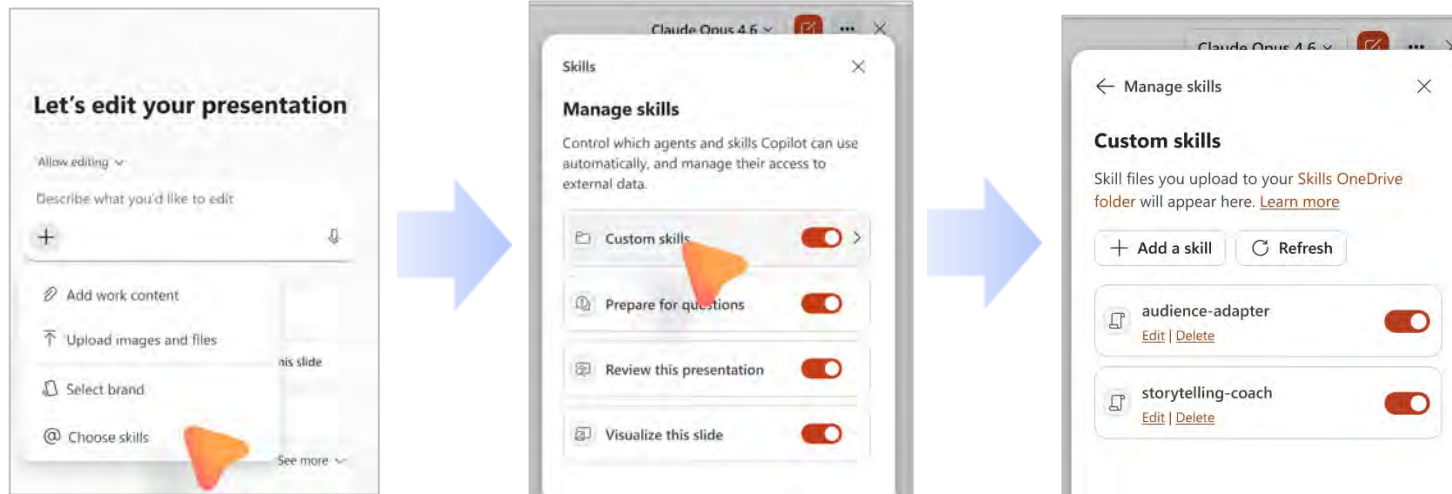
NEW

PowerPoint でカスタムスキルの作成・編集が可能に

Copilot in PowerPoint でカスタムスキルが利用できるようになりました。部署ごとに異なる資料作成ルールやテンプレートをスキルとして登録・共有することで、組織内で一貫性のある資料を作成できます。

流れ

PowerPoint の Copilot を開き、スキルを選択



利用例



会議資料のチェック

スライドの内容が以下の観点に沿っているかをチェックするスキルを作成することができます。

- 結論が最初に記載されているか
- 意思決定してほしい項目が明確か
- 前月との差分が説明されているか
- リスクと対応策が記載されているか
- 想定質問を作成する



テキストのみのスライドを図解化

文章の多いスライドを以下の形式に修正すると、いった内容でスキルを作成することができます。

手順型
比較内容
組織関係
時系列



プロセス図
比較表
関係図
タイムライン

メリット



繰り返し行う指示の再利用可能なガイダンスへの変換と、プレゼンテーション作業への適用ができます。

4.3. Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のブランドキュレーションとコラボレーションの迅速化」についてまとめています。

NEW

PowerPoint 翻訳機能が
Copilot から利用可能に

PowerPoint の翻訳機能がリボンから Copilot に移行しました。



既存の翻訳機能

上部のリボンから校閲を選択し
翻訳機能を開く



今後の翻訳機能

Copilot に翻訳を指示



NEW

ブランドイメージを維持した
SmartArt 編集が可能に

これまで手動で追加・配置していた SmartArt を、Copilot がブランドの体裁を維持したままキャンバス上で編集してくれるようになりました。

流れ

- 1 SmartArt を追加します。
- 2 Copilot に「このプロセスを3段階から5段階に変更して」と伝えます。
- 3 Copilot が SmartArt を編集します。

リリーススケジュール



2026 年 8 月から Frontier で利用可能になりました。

4.4. Copilot in Excel のチャット履歴および変更履歴機能

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Excel のチャット履歴および変更履歴機能」についてまとめています。

NEW Copilot によるワークブック変更履歴の確認が可能に

変更履歴機能は、ワークブックが時間の経過とともにどのように変化してきたかをユーザーが理解するのに役立ちます。

機能



編集者の特定



特定の編集を元に戻す



最近の変更を要約



数式の復元

流れ

- 1 Copilot in Excel のチャットを開きます。
- 2 「(例)〇日以降の業務に影響がある変更点を要約して」と伝えます。
- 3 条件に沿った変更・編集履歴の要約が出力されます。

Summary of Key Business Changes Since Friday 5 PM

1. Dashboard Created (Alex Chen — Today, Apr 6)

A new executive dashboard was built with key Q2 metrics pulling from other sheets:

Metric	Value	vs. Q1	Status
Total Q2 Revenue	\$34.1M	▲ 12.0%	On Track
Enterprise Revenue	\$18.3M	▲ 15.0%	Strong
Mid-Market Revenue	\$9.2M	▲ 10.0%	Monitor
SMB Revenue	\$3.9M	▲ 8.0%	Monitor
Partner/Channel	\$2.7M	▲ 14.0%	Growing

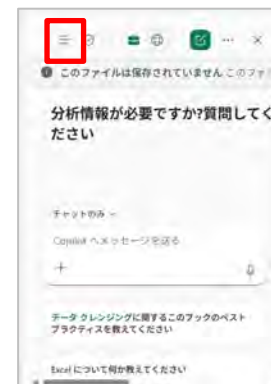
NEW

Copilot セッションの継続利用が可能に

チャット履歴機能によって、過去の会話やセッションが保存されます。そのため、ユーザーは Copilot での作業を中断したところから再開できるようになります。

流れ

- 1 Excel で Copilot Chat を開きます。
- 2 左上のナビゲーションパネルを選択します。
- 3 会話が新しい順に表示されます。
- 4 リストから会話を選択すると、その会話が表示されます。



4.5. Copilot in SharePoint のパーソナルスキル

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in SharePoint のパーソナルスキル」についてまとめています。

NEW

SharePoint で個人スキルの作成・利用が可能に

SharePoint の Copilot で個人スキルを作成し、作成したものを SharePoint サイトと OneDrive 全体で利用することができます。各ユーザーが所有するスキルは Markdown ファイルとして OneDrive に保存されるため、サイトごとにスキルを再作成する必要はありません。

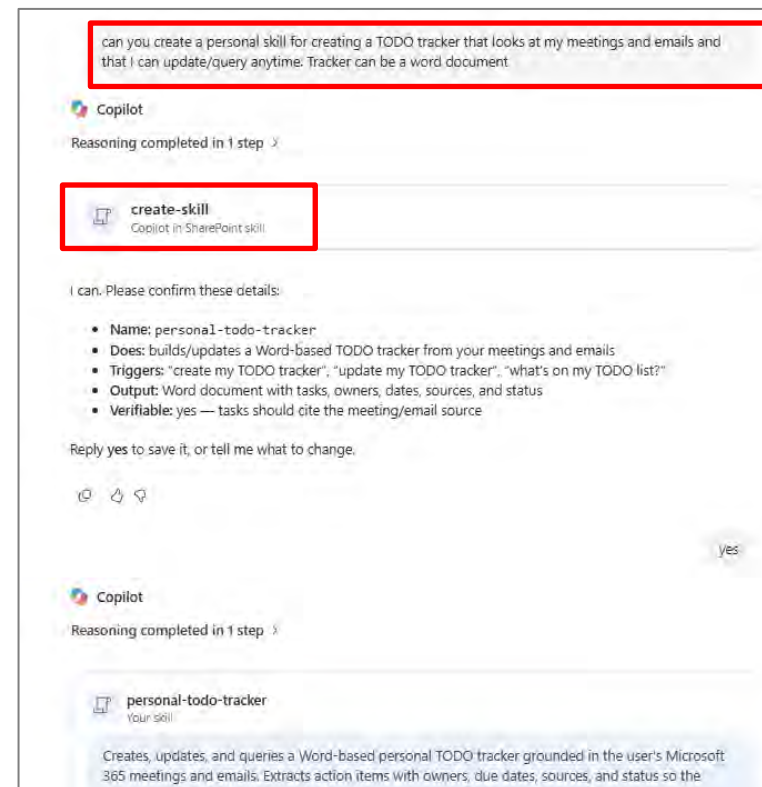
流れ

- 1  Copilot in SharePoint のチャットパネルを開きます。
- 2  Copilot に再利用したいスキルの作成を依頼します。
- 3  Copilot からの提案を確認し、必要に応じて修正します。
- 4  スキルを保存します。

リリーススケジュール



2026 年 8 月パブリックプレビューとしてリリースされました。
同年 12 月から全世界でリリース予定です。



4.6. Copilot in Outlook のエージェント・メール作成・管理機能の強化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Outlook のエージェント・メール作成・管理機能の強化」についてまとめています。

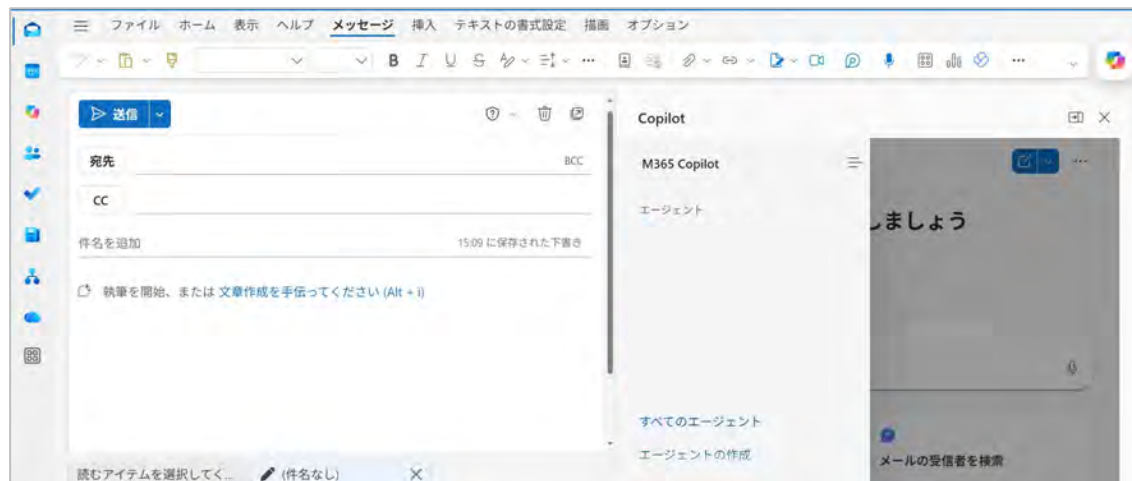
NEW

Outlook 内での
カスタムエンジンエージェント活用が可能に

ユーザーは作業管理を行う場所からカスタムエンジンエージェントにアクセスでき、Outlook 内でその機能を利用できるようになります。

利用例

- 1 新規メールを作成します。
- 2 作成中のメールと Copilot エージェントを並べて表示し、メールを編集できます。



NEW

自然言語によるメール・予定管理が可能に

ユーザーはチャットから Copilot にメッセージの整理、カテゴリの適用、フォルダの作成、受信トレイのルール管理、会議やイベントへの対応などを依頼できます。

利用例

- 1 Outlook の Copilot に「今週の会議予定を教えてください」と伝えます。
- 2 Copilot が Outlook の予定表から会議予定をリストアップします。



4.7. Copilot in OneDrive のファイル機能強化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in OneDrive のファイル機能強化」についてまとめています。

NEW

ユーザーはチャットから直接ファイルにアクセスし、成果物を作成可能に

OneDrive の Copilot は、適切なコンテンツの検索、ファイルやデータの分析、要約、ダッシュボード、プレゼンテーションなどの出力の作成、そして OneDrive から結果を保存または共有することによる共同作業を支援します。

強化点



適切なコンテンツの検索



ファイル・データの分析、要約、ダッシュボード、プレゼンテーションなどの出力作成

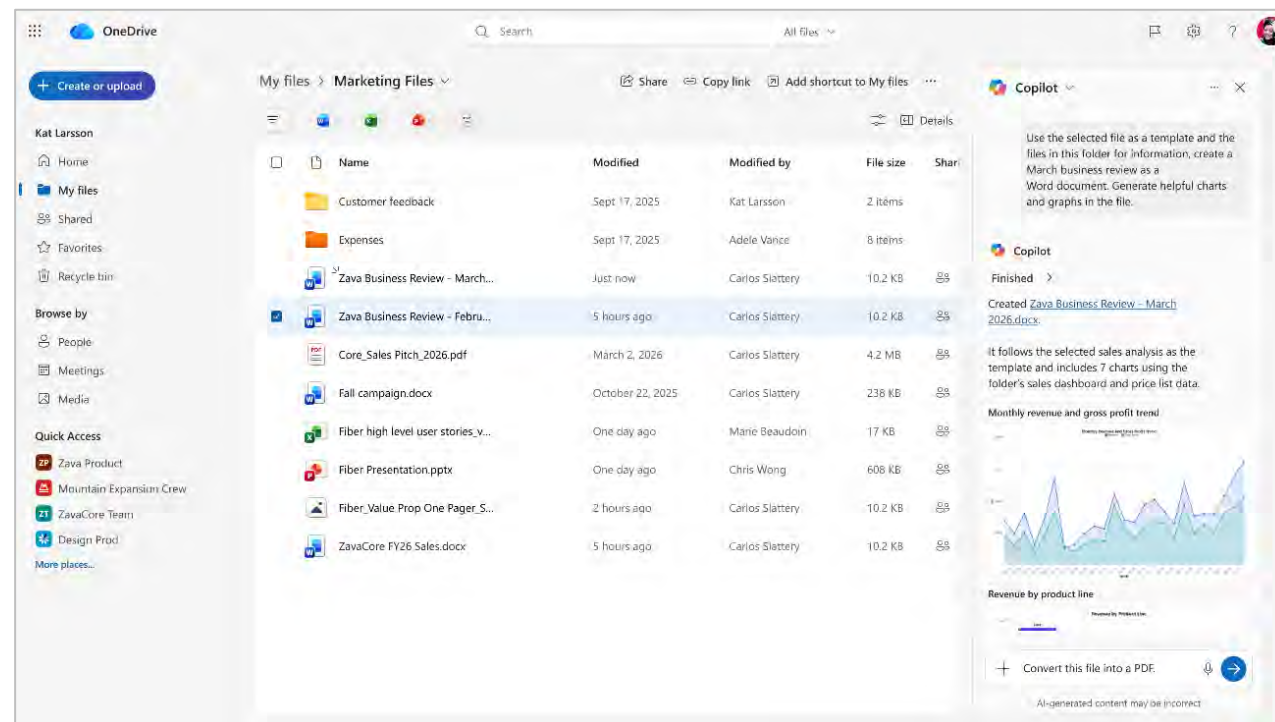


OneDrive からの共同作業

リリーススケジュール



2026 年 8 月にパブリックプレビューとしてリリースされました。同年 12 月に全世界でリリース予定です。



4.8. Copilot in Planner のステータスレポートとタスク管理強化

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Planner のステータスレポートとタスク管理強化」についてまとめています。

NEW

Planner Agent による
ステータスレポート生成が可能に

Planner からユーザーのタスクデータを取得し、進捗状況、リスク、今後の予定などをまとめた、関係者向けのステータスレポートを作成できます。



NEW

Copilot による Planner タスクの作成と
タスク情報の照会が可能に

ユーザーはCopilotとPlanner間でタスク作業をよりシームレスに管理できるようになります。



リリーススケジュール



2026 年 8 月から Frontier で利用可能になりました。



5. IT 管理者向け機能： 管理・ガバナンス機能の強化

5.1. データエクスポート機能

本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「データエクスポート機能」についてまとめています。

NEW

Copilot および Agent 365 ダッシュボードのデータエクスポート機能が利用可能に

管理者は、Copilot および Agent 365 ダッシュボードの新しいデータエクスポート機能を使用して、カスタムレポートを作成できます。

機能



Insights

匿名化された行レベルのメトリックをエクスポート可能

- ・組織全体の利用状況分析
- ・ユーザーレベルの利用傾向の分析
- ・カスタムレポートの作成

The screenshot shows the 'Agent 365 Dashboard' interface. At the top, there's a header with 'Agent 365 Dashboard' and navigation icons. Below the header, a notification box is displayed with the title 'You can now export agent metrics'. The notification text states: 'Download up to 6 months of de-identified agent metrics, depending on data availability. Data is updated weekly.' At the bottom of the notification are two buttons: 'Learn more' and 'Got it'. The background of the dashboard shows filters for 'License: All', 'Scope: Your company', and 'Organization'. There's also a date range selector set to '4 weeks (Jul 19 - Aug 15)'. The main content area is titled 'Your insights at a glance' with a subtitle 'Top-level breakdown of your organization's agents and their usage'.

5.2. GitHub Copilot AI Credits の管理強化

本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「GitHub Copilot AI Credits の管理強化」についてまとめています。

NEW

GitHub Copilot AI クレジット使用状況の可視化が可能に

Insights の消費ダッシュボードで、GitHub Copilot AI クレジットの使用状況が確認できるようになりました。管理者は、開発者が GitHub Copilot をどのように利用しているかを分析し、導入状況とクレジットを管理できます。

流れ

- 1  マネージャー・Insights アナリスト・グローバル管理者が支出を予算と比較します。
- 2  GitHub Copilot への投資についてデータに基づいて意思決定します。

